

◆部局の役割・目標像

安心が得られるまちへ
「子どもの人権が尊重され、子どもと大人がともに育ちあい、笑顔輝くまち草津」、「子ども・若者が自分らしく生きるまち草津」を目指します。

◆切れ目のない子育て支援を充実します。

- ・「総合相談窓口の充実」を行います。
- ・「母子保健サービスの充実」を行います。
- ・「子ども・子育て支援、ネットワークの充実」を行います。

◆就学前教育・保育を充実します。

- ・質の高い就学前教育・保育を提供します
- ・優秀な人材の確保と育成体制の強化を図ります。
- ・学校教育への円滑な接続を目指します。
- ・「就学前教育・保育施設の充実」を行います。

◆安心して子育てができる環境づくりをすすめます。

- ・児童虐待防止の広報、啓発等に努めるとともに、通告等に対して迅速に対応するための相談窓口の充実を図ります。
- ・「ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への支援の充実」を行います。
- ・「発達障害者等への支援の充実」を行います。
- ・「児童育成クラブの充実」を行います。

◆子ども・若者の育成支援を進めます。

- ・「子ども・若者支援体制の整備」を進めます。
- ・「青少年健全育成の推進の充実」を行います。

◆目標管理者

部長 木村 博

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)				当初予算規模(千円)		
	正規	再任用	会計年度	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	2	0	0	2	—	—	—
子ども・若者政策課	5	0	3	8	559,060	408,717	150,343
子ども家庭課	8	1	14	23	2,953,070	2,254,243	698,827
家庭児童相談室	5	0	9	14	40,829	3,143	37,686
子育て相談センター	11	1	17	29	312,082	61,596	250,486
発達支援センター	10	0	27	37	838,337	609,408	228,929
幼児課	13	2	12	27	1,248,123	349,420	898,703
幼児施設課	7	0	5	12	7,180,630	5,064,312	2,116,318
幼稚園(幼稚園型認定こども園含む)							
保育園(幼保連携型認定こども園含む)							
合計	61	4	87	152	13,132,131	8,750,839	4,381,292

1. 現状認識
(重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)

1
＜総合相談窓口の充実、母子保健サービスの充実＞
核家族や転入家庭など周囲の支援が得られない家庭が多く、妊娠や子育てに関する不安や悩みが発生しても周囲に相談できないために悩みを増幅させるパターンが多く見受けられます。

➡

2. 重点目標

①
妊娠から子育てに関する不安を解消するとともに切れ目ない支援につなげるため、子育て支援施設とも連携して相談しやすい環境づくりに努め、継続的な支援を円滑に実施できるよう関係機関で情報連携に努めます。
また、転入家族や核家族といった家庭を含め、周囲の支援が得にくい家庭が安心して子育ての悩み等を相談できるよう、総合相談の充実に努めます。

➡

3. 目標達成のための取組と成果目標

①【取組】
・関係機関との情報連携の強化により情報の把握に努め、継続的な支援の実施により妊娠期からの切れ目ない支援を実施し、子育て不安の軽減を図ります。
・個別のケースを継続的に管理するために作成した個別支援プランを用い、産前産後を通じて切れ目のない支援に取り組めます。また、周囲の支援が得にくい家庭の悩みが総合相談につながるよう、総合相談窓口の周知・啓発に努めます。
総合相談事業(事業費 4,580千円)
養育支援訪問事業(事業費 3,543千円)
妊娠・出産包括支援事業(事業費 4,961千円)

【成果目標】
産後、退院してからの一カ月程度、指導・ケアを十分に受けられたと感じた人の割合 90% (令和元年度実績 89.4%)

②【取組】
先天性の聴覚障害を早期発見し、適切な治療や療育につなげるため、出産後、産科医療機関等で実施する検査にかかる費用について一部助成します。
新生児聴覚検査費(事業費 4,139千円)

【成果目標】
新生児聴覚検査受診率97%(長期入院児など事情により受けられない児を除く)

③【取組】
乳幼児健診の待ち時間や混雑の緩和を図り、スムーズに受診ができるよう、乳幼児健診ネット予約システムを導入します。
乳幼児健診ネット予約システム導入費 (事業費 2,651千円)

【成果目標】
乳幼児健診ネット予約システムを令和3年1月から運用開始します。

総合計画上の位置づけ

R2
重点施策

子ども未来部～1～

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
2	＜子ども・子育て支援、ネットワークの充実＞ 核家族化やコミュニティの希薄化等により、家庭や地域における子育て機能が低下し、子育てに対し不安や負担を抱えている保護者が増加しています。

3	＜質の高い就学前教育・保育の充実＞ ・子どもの発達や特性に応じた質の高い就学前教育・保育の一体的な提供と、優秀な保育人材の確保・育成を推進し、子育て期の保護者が安心して仕事と子育てを両立できるよう支援する必要があります。 ・草津市における「就学前教育・保育の質の向上」を図るため、小学校や民間保育園等とのさらなる連携を図り、小学校への円滑な接続や教育・保育内容の充実を図る必要があります。
---	--

2. 重点目標	
②	身近なところに子育てを支えてくれる人がいないという家庭が増加し、子育ての孤立化は深刻な問題となっているため、子育て中の親子が交流できる場所や必要な子育て情報を提供できるよう取り組みます。

③	子育て家庭に家事や育児を行うホームヘルパーを派遣することで、子育ての負担感の軽減と家庭の孤立防止を図ります。
---	--

④	・質の高い就学前教育・保育を提供します。 ・優秀な人材の確保と育成体制の強化を行います。 ・学校教育への円滑な接続をめざします。
---	--

3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R2 重点施策
④	【取組】 ・子育て支援センターを運営します。 地域子育て支援センター（事業費 16,304千円） 2箇所（みのり・モンチ） 市子育て支援センター（事業費 14,434千円） ・つどいの広場くれよんを運営します。（事業費 4,088千円） ・ミナクサ☆ひろばを運営します。（事業費 35,456千円） ・児童館の運営を支援します。 笠縫東児童センター（事業費 9,407千円） ・（仮称）市民総合交流センター子育て広場について、令和3年度の開設を目指し、開設準備を行います。（事業費 4,488千円） 【成果目標】 地域子育て支援拠点事業での年間延べ利用者数 85,821人（令和元年度実績 75,392人）	分野：子ども子育て 施策：子ども、子育て支援、ネットワークの充実	

⑤	【取組】 1歳までの乳幼児を養育している家庭に、子育て応援ヘルパーを派遣します。 ・多胎児家庭ホームヘルパー派遣事業（事業費 1,423千円） ・草津っ子サポート事業（事業費 819千円） 【成果目標】 ・多胎児家庭ホームヘルパー派遣事業 510時間（令和元年度 493時間） ・草津っ子サポート事業 216時間（令和元年度 196時間）	分野：子ども・子育て 施策：子ども・子育て支援、ネットワークの充実	
---	---	--------------------------------------	--

⑥	質の高い就学前教育・保育の提供 【取組】 ・一人ひとりの保育者が多様な保育ニーズに対応できるよう、実践力のある保育者としての専門性がより高められるような研修を実施します。 ・乳幼児の発達や特性に合わせた効果的な運動遊びを取り入れることで、幼児が自発的に楽しく体を動かしたり、多様な動きを身に付けたりでき、コミュニケーション能力の向上を目指します。また、本モデル事業を通して、職員の意識や指導力の向上を目指します。 ・「乳幼児期に育てたい力」のリーフレットを作成し、保護者や地域と共に乳幼児期の教育・保育の重要性を確認し、地域ぐるみで子どもの育ちの環境づくりに取り組みます。 【成果目標】 ・研修会実施（年10回程度） ・幼児期の運動遊びプログラムの作成 ・「乳幼児期に育てたい力」の啓発リーフレットの作成	分野：子ども・子育て 施策：質の高い就学前教育・保育の提供	重点③ 子育て支援の充実
---	--	----------------------------------	-----------------

⑦	優秀な人材の確保と育成 【取組】 ・それぞれの経験年数や職責に合わせた保育人材育成計画を策定し、より専門性と実践力のある人材の育成を図ります。 ・広域的な立場から、県内の自治体と協働で保育人材の効果的な育成や確保について取り組みます。 【成果目標】 ・保育者の人材育成計画の策定 ・滋賀県待機児童対策協議会への参画	分野：子ども・子育て 施策：質の高い就学前教育・保育の提供	
---	---	----------------------------------	--

⑧	学校教育との円滑な接続 【取組】 ・幼児教育アドバイザーを活用して、就学前の学び方や就学後の学び方の違いに着目しながら、育ちや学びがつながっていく取組を行います。 ・スタートカリキュラムやアブローチカリキュラムを活用しながら、保育や授業の中で「学びに向かう力」が育つための教材の研究や指導方法の開発を行います。 【成果目標】 ・幼児教育アドバイザーによる授業の参観 ・入学後3週間チェックにもとづく接続期カリキュラム見直しの実施	分野：子ども・子育て 施策：質の高い就学前教育・保育の提供	
---	--	----------------------------------	--

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
4	〈就学前教育・保育施設の整備〉 (待機児童の解消) 「子ども・子育て支援新制度」では、支援の量の拡充を求めているが、本市では、これまで保育需要の増加に対応するため、施設整備による定員増を図ってきましたが、更なる需要の増大が見込まれることから、第二期草津市子ども・子育て支援事業計画に基づき、待機児童解消施策の実施が必要です。待機児童解消に向けて、保育の受け皿となる施設整備を推進し、利用定員の拡大を図るとともに、保育の担い手である保育士の確保が喫緊の課題であることから、保育士の就業継続および離職防止を図り、保育士が働きやすい環境を整備するため支援を行う必要があります。
5	〈就学前教育・保育施設の整備〉 子ども・子育て支援新制度において、認定こども園の普及が推進されており、保育所における待機児童の発生や幼稚園における定員割れ、3歳児の未就園層に対する幼児教育の提供等の本市の抱える課題を解決するためにも、子どもの視点に立った質の高い幼児教育と保育の一体的提供(幼保一体化)に向け、認定こども園を推進することが求められています。

2. 重点目標	
⑤	(待機児童の解消) 第二期草津市子ども・子育て支援事業計画に基づき、待機児童の解消に向けて、認可保育所、小規模保育施設の整備を推進するとともに、保育士等の安定的な確保に向けて、処遇改善事業等の取り組みを推進します。
⑥	第二期草津市子ども・子育て支援事業計画に基づき、質の高い幼児教育と保育の一体的な提供に向けて、公立幼稚園の認定こども園化に向けた施設改修に取り組みます。

3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R2 重点施策
⑨	【取組】 ①本市では「草津市子ども・子育て支援事業計画」がスタートした平成27年度以降、1,341人の保育定員の拡大に取り組んできましたが、さらなる保育需要に対応するため、「第二期草津市子ども子育て支援事業計画」に基づき新設民間保育所の整備に対して支援を行います。 【令和3年4月開園】 ・新設民間保育所施設整備費補助金(社会福祉法人聖パウロ会設立準備会 利用定員90人、社会福祉法人京慈会 利用定員120人、社会福祉法人くじら2 施設 利用定員110人および90人 事業費1,100,875千円) ②小規模保育施設(3箇所)の整備に対して支援を行います。(利用定員57人、事業費 57,750千円) 【成果目標】 ・待機児童を解消します。	分野:子ども・子育て 施策:質の高い就学前教育・保育の提供	重点③ 子育て支援の充実
⑩	【取組】 保育士確保対策として、私立認可保育所等を対象に支援を行います。 ・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金(事業費34,080千円) ・保育体制強化事業補助金(※拡大 事業費39,600千円) ・保育士等処遇改善費補助金(事業費70,156千円) ・保育補助者雇上強化事業費補助金(事業費60,966千円) 【成果目標】 ・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金 17施設40人、34,080千円 (令和元年度 9施設、16人、9,038千円) ・保育体制強化事業補助金 22施設、39,600千円 (令和元年度 10施設、9,761千円) ・保育士等処遇改善費補助金 23施設、70,156千円 (令和元年度 21施設、784人、59,346千円) ・保育補助者雇上強化事業費補助金 23施設27人、60,966千円(令和元年度 6施設9人、5,846千円)	分野:子ども・子育て 施策:質の高い就学前教育・保育の提供	重点③ 子育て支援の充実
⑪	【取組】 ・玉川こども園の園庭整備工事を実施します。(事業費41,361千円) ・常盤こども園の既存棟整備に向けて修正設計を実施します。(事業費1,385千円) ・老上こども園の一部既存棟改修工事を実施します。(事業費41,209千円) ・(仮称)笠縫認定こども園の開園に向けて増築棟建設および一部既存棟改修工事を実施します。(事業費178,521千円) ・(仮称)矢倉認定こども園の整備に向けて、実施設計および仮設園舎整備を実施します。(事業費30,492千円 債務負担行為 68,200千円) 【成果目標】 ・玉川こども園の園庭整備工事を完了します。(令和元年度既存棟改修工事、令和2年度園庭整備工事) ・常盤こども園の修正設計を完了します。(令和元年度増築棟建設工事、令和2年度修正設計、令和3年度既存棟改修工事) ・老上こども園の一部既存棟改修工事を完了します。(令和元年度実施設計、令和2年度一部既存棟改修工事) ・(仮称)笠縫認定こども園を、令和3年4月に開園します。(令和元年度実施設計、令和2年度増築棟建設および一部既存棟改修工事) ・(仮称)矢倉認定こども園の実施設計および仮設園舎建設を完了します。(令和2年度実施設計および仮設園舎建設、令和3年度既存棟大規模改修および駐車場整備工事)	分野:子ども・子育て 施策:質の高い就学前教育・保育の提供	重点③ 子育て支援の充実

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R2 重点施策
6	＜児童虐待の防止と早期発見・早期対応＞ 全国的に、児童虐待相談対応件数の増加や重篤な児童虐待事件が後を絶たないなど、児童虐待は深刻な社会問題となっています。「しつけ」を理由にした重篤な虐待事件が続く中、令和2年4月1日施行の児童福祉法等の一部改正により、親権者等による体罰の禁止が明示され、児童虐待を未然に防止し、早期発見・早期対応を行う支援体制のさらなる強化が求められています。	⑦	児童虐待の防止、早期発見・早期対応のために、妊娠期からの継続的な支援が行えるよう組織・体制の見直しと充実を図り、迅速かつ適切な支援を行うため、要保護児童対策地域協議会における関係機関連携の強化を図ります。	【取組】 児童虐待の防止、早期発見・早期対応のための組織・体制の充実を図り、併せて要保護児童対策地域協議会における関係機関連携強化に努めます。令和元年度に見直しを行った「子どもへの虐待対応マニュアル」について関係機関へ周知を図るとともに、通告ルールの周知など未然防止のための広報啓発や「体罰によらない子育て」講座開催に取り組みます。 (家庭児童相談事業費 36,847千円) 【成果目標】 ⑫ 要保護児童対策地域協議会(代表者会議)の開催回数 2回 (令和元年度2回) ・児童虐待防止の啓発研修の実施 1回(令和元年度0回:ウィルス感染予防のため中止) ・「体罰によらない子育て」の学びの提供 ①CAP研修の開催回数 5回(令和元年度 4回) ②保護者向けCSP連続講座、サポート講座の実施回数 7回 (令和元年度2回) ③子育てサポーター(オレンジメイト)育成のための基礎講座の実施 育成人数 10人(令和元年度 5人)	分野:子ども・子育て 施策:児童虐待の防止と早期発見・早期対応	
7	＜ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への支援の充実＞ ひとり親家庭等では、精神面や経済面で不安定な状況に置かれる傾向にあります。家庭の不安定な状態が子どもの成長、進路選択に影響することが懸念されます。	⑧	・ひとり親家庭等の自立と生活の安定のため、相談体制、経済的支援や日常生活の支援等の充実を図ります。 ・子どもが子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、将来の夢や目標の実現に向かっていけるよう、子どもの貧困対策や子どもの居場所づくりを進めます。	【取組】 ・ひとり親家庭に対し、母子・父子自立支援員による相談対応や支援制度の利用をすすめ、自立に向けた支援を行います。(事業費 6,524千円) ・貧困の連鎖を防止するため、ひとり親家庭や経済的困窮家庭等の中学生を対象に生活習慣の習得支援、学習支援、食の提供を行う「子どもの居場所」を2か所の充実させるとともに、子どもの生活の向上を図ります。(事業費 4,565千円) ⑬ 子どもの貧困対策にかかる取り組みを推進するとともに、各種事業の実施を通して、見えにくい困難な状況にある子どもや家庭に気づき、適切な支援に結びつける効果的な支援体制づくりをすすめます。 【成果目標】 ひとり親家庭の子どもの進学率(中学校卒業後) 96.6%	分野:子ども・子育て 施策:ひとり親家庭等への支援の充実	
8	＜発達障害児等への支援の充実＞ ・早期就園率が高まり、療育の必要性がありながら療育を経験せずに就学前教育・保育施設に就園し、集団保育になじみにくい状況や、子育ての見通しがもてにくく不安をもつ保護者の増加が懸念されます。 ・障害児通所支援事業の利用者が増加する中、地域には相談支援事業所が不足しており、きめ細やかな相談支援体制を行うことができず、保護者の負担が増加しています。	⑨	地域の中核的な障害児支援の拠点として、児童発達支援センターの機能強化を進めるとともに、障害が疑われる子どもをサービスにつなげ、保護者が安心して子どもを育てることができる環境を整えていきます。	【取組】 子どもの発達や障害に応じた早期療育とその家族支援を行うために通所支援「湖の子園」の機能強化に向けた取り組みを進めます。(事業費 69,255千円) ⑭ 【成果目標】 ・通所支援(湖の子園)利用者数 35人 (令和1年度 49人) ・親子体験通園教室の利用者数 10人 (新規) ・湖の子園の課題分析と方向性の検討	分野:子ども・子育て 施策:発達障害児等への支援の充実	
		⑩	発達、医療、福祉、就労等の多様な相談ニーズに対応し、乳幼児期から成人期にかけて切れ目のない相談支援に取り組みます。	【取組】 乳幼児期から成人期にかけて切れ目のない相談支援に取り組みます。 (事業費 53,484千円) ⑮ 【成果目標】 ・発達相談者数 391人(令和1年度 419人) ・巡回相談者数 55人(令和1年度 68人) ・5歳相談者数 43人(令和1年度 45人) ・小・中学・高校の相談者数 826人(令和1年度 693人) ・成人期の相談者数 128人(令和1年度 99人)	分野:子ども・子育て 施策:発達障害児等への支援の充実	
		⑪	障害児相談支援の体制を強化していくため、障害児相談支援事業所に補助を行い、地域での重層的な支援体制の構築を進めます。	【取組】 障害のある就学前の子どもが、民間事業所の実施する児童発達支援、保育所等訪問支援のサービスを利用する場合に利用者負担分を全額支援します。 (民間事業所利用者負担軽減分 744千円) 【成果目標】 民間事業所利用者数 85人(令和元年度 85人) ⑯ 【取組】 障害のある子どもが障害児通所支援サービス等を利用する場合の、障害児支援利用計画等の作成に対して、民間の相談支援事業所に対して、市の補助制度を行います。 (事業費 2,074千円) 【成果目標】 障害児相談支援に対する市の補助制度の利用数 5事業所 40人(新規)	分野:子ども・子育て 施策:発達障害児等への支援の充実	

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
9	＜児童育成クラブの充実＞ 仕事と子育ての両立をサポートし、安心して就労できる環境づくりを図るため、放課後における児童の安全、安心な居場所づくりとしての児童育成クラブの充実が求められています。
10	＜第二期子ども・子育て支援事業計画、子ども・若者計画の推進＞ ・子ども・子育て支援に係るニーズを踏まえ、就学前の幼児教育・保育、地域子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に実施するため、子ども・子育て支援法に基づき「第二期草津市子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。 ・ニート、ひきこもり、不登校、発達障害等の子ども・若者の抱える問題の深刻化や、有害情報の氾濫等の子ども・若者をめぐる環境の悪化といった現状に対して、行政の個別分野における縦割りの対応での限界が指摘されており、子ども・若者の健やかな育成への支援・取り組みを、総合的に推進するため、「草津市子ども・若者計画」を策定しています。
11	＜青少年健全育成の推進の充実＞ 情報化の進展などにより、青少年を取り巻く環境は大きく変化し、非行、いじめなどの問題が深刻化しています。安心して子どもを産み育てることができるまちを目指し、地域社会で子どもを育成する運動を進めます。また、少年センターでは、相談活動のほか、地域の協力を得て、街頭巡回活動を行い青少年の健全育成に努めます。

2. 重点目標	
⑫	子どもが安全で安心でき、健やかに育まれる放課後の活動場所の確保のため、多様な保育ニーズに対応できる児童育成クラブの充実と施設の整備を図ります。
⑬	・事業の実施状況および重点的な取組事項の数値目標について、進捗管理を行います。 ・困難を有する子ども・若者への支援体制については、計画の重点的な取り組みの対象となる「ひきこもり」が、全国的に、40～64歳が約61万人と、40歳未満の約54万人を超える状況にあり、全世代にわたる問題とした支援体制の構築に向けて、関係部局と協議を行い、既存の枠組みを活用しながら、効果的な体制整備への検討を進めます。
⑭	青少年の健全育成を図るため、地域、学校、関係機関、行政とが連携し、青少年が自ら社会や他者との関わりを考え、社会の一員としての自覚と行動を促す機会づくりや、青少年への教育活動を進めるとともに、地域や関係機関などと行政を繋ぐネットワークの強化を図ります。

3. 目標達成のための取組と成果目標		総合計画上の位置づけ	R2 重点施策
⑰	【取組】 ・公設児童育成クラブの管理運営を行います。 (事業費 348,449千円) ・増加が著しい学区に民設児童育成クラブを開設するとともに、民設児童育成クラブの運営支援を行います。(令和3年開設5箇所、運営支援18箇所)(事業費163,482千円) ・児童育成クラブの適正な運営や質・サービスの向上に取り組みます。 ・民設児童育成クラブとの連携強化および質の向上のため、運営者会議を開催します。 【成果目標】 ・待機児童を解消します。 ・支援員等研修会の開催回数 4回(令和元年度 3回)	分野:子ども・子育て 施策:児童育成クラブの充実	重点③ 子育て支援の充実
⑱	【取組】 ・子ども・子育て会議を開催し、「第二期草津市子ども・子育て支援事業計画」および「子ども・若者計画」の進捗管理を行います。(事業費1,331千円) ・困難を有する子ども・若者への支援体制について、引き続き検討を進めます。 【成果目標】 子ども・子育て会議の開催回数 2回(令和元年度 5回)	分野:子ども・子育て 施策:子ども・子育て支援ネットワークの充実	
⑲	【取組】 青少年をとりまく環境の変化に対応しながら、青少年の健全育成を推進される市民会議と連携して、関連事業を展開します。 (主な事業) ・青少年の主張発表大会を開催します。(事業費 350千円) ・青少年育成大会を開催します。(事業費 400千円) 【成果目標】 地域、学校、関係機関、行政の連携強化を図るとともに、青少年が活躍する場の充実を図ります。	分野:教育・青少年 施策:青少年健全育成の推進	
⑳	【取組】 少年センターでの相談活動や、少年補導委員の協力を得て、街頭巡回活動を行う他、幅広い青少年の抱える課題に対する支援を行います。 【成果目標】 地域、学校、関係機関との連携を強化し、少年への声かけを通じて青少年の健全育成を図ります。	分野:教育・青少年 施策:青少年健全育成の推進	